

議員活動資料

平成 15 年 7 月 4 日

『田中知事下ろし』は犯罪行為でなかったかの疑惑

須坂市議会議員 佐藤壽三郎

6 月 29 日放映されたテレビ朝日系列のサンプロで、「長野県の談合の実態」が取上げられた。これを見た県民は驚愕した。

02 年 7 月 6 日、県会での「知事不信任可決。議会は解散か失職か」にまさかの疑念が生ずる。当時の関連記事を今更読み返すに、ありありと政治家の暗躍が、点と線が時間を経ることによって結びつく。これでは、利権に巢食う権力者が保身のために巧妙に仕組んだ「田中下ろし」のなにものでもなかったと、推測されても仕方がない。

有りえない「白日夢」が現実議会で行なわれ、その結果知事は失職し、知事選が執り行われた事実を直視しなければならない。場合によっては司直の介入もありうる憂慮される醜態である。最早、政治も揉み消しや、「御為倒し（おためごかし）」が通用しない時代である。旧態依然の体質で政治家が乗り切ろうとしたならば、これは悲劇であり喜劇と言えまいか。

県民は、いま一度 02 年 7 月 6 日までの県議会の道のを検証しなければなるまい。「臭いものには蓋をする」では済まされない事態に陥っていることを自覚しなければ、傷口は更に大きくなり、県議会は県民の支持を失うであろう。